

まちづくり チャレンジ特別入試

まちづくりチャレンジ特別入試って？

→これまでの地域社会とつながりを持ち、ユニークな活動を実践してきた経験を活用したうえで、小論文と面接でしけんを実施し、合否を決める入学方法。

♥ 高校時代の活動

① 千葉県銚子市の地域活性化

高校2年生の時に、内閣府が提供している地域経済分析システム（RESAS）を利用し、まちについて調べるといって特別授業があり、私は当時親が単身赴任していた千葉県銚子市を選び分析し、2つの解決策をあげました。1つ目は漁業・醤油づくり・醸造工芸が盛んであることを利用したオリジナル海鮮丼づくり、2つ目は観光客属性が異なる茨城県鹿嶋市や香取市などと合同でクーポン券型の旅行券を販売することを掲げました。

② 通勤・通学中の防災

家庭科の授業の一環として、自分の身近にある課題を発見し、それに対する解決策への提案を通して、探求にチャレンジするというプログラムで、私は通勤・通学中の災害に対する意識が低いのではないかと考え、調査・研究を行いました。独自に行ったアンケートをもとに、ワークショップを開催と、企業でのプレゼン、災害情報を記録し蓄積していくツールとして、デジタルアーカイブを作成しました。また、オーストラリアへの海外研修を経て、日本以外でも防災に対する意識を高めてもらうために促すことで、また違った考えを吸収し、解決策の作成に役立てることができました。



出身地/研究地

東京都中野区
千葉県銚子市

私は東京都中野区で生まれ育ちました。親が単身赴任をしていた千葉県銚子市の地域活性化に興味を持ち研究しました。



志望理由

自分の学びを存分に
生かすことのできる学部

高校時代に研究した2つのことがきっかけで地域活性化やまちづくりについてより深く学びたいと思い、この試験を受けました！



大学の授業の印象

様々な分野の勉強ができ、
多方面から地域を見ることができる

まちづくりやコミュニティだけでなく福祉や心理はもちろんのこと、法学や社会学など色々な方面から地域を学べます！

♥ 今後の目標

大学では多くの方面からまちづくりや地域活性化について学びつつ、より深く、専門的に理解を深めていきたいと思っています。また、大学卒業後は自治体やNPOの職員として、何かの形で地域活性化を促進できる仕事に就きたいと考えています。

♥ 高校生へのメッセージ

受験勉強は決して楽な道ではありません。モチベーションが上がらない、思うように勉強が捗らないなど、悩みを抱える人も多いと思います。このまちづくりチャレンジ特別入試は自分が今までやってきた活動を存分に発揮できる素晴らしい機会です。実際に私は、高校でやってきた活動を利用し、入学することができました。辛いことは今後もたくさんあると思いますが、頑張ってください！法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科で待っています！

法政大学現代福祉学部「まちづくりチャレンジ入試」に興味のある方は、以下のウェブサイトもご覧ください。現代福祉学部で学びたい方へ

<https://www.hosei.ac.jp/gendaifukushi/jukensei/>